

環境経営レポート

2024年度



株式会社ユタカ

対象期間：2023年10月1日～2024年9月30日



発行日：2024年10月31日

環境経営方針

□ 基本理念

世界中で非鉄金属資源が限りなく減少し無尽蔵ではなくなった今日、当社は、限りある資源を大切に循環社会を目指し、「人・物・金」が集まるような会社作りを目指します。

□ 環境経営方針

当社は、環境経営システムの構築・運営を推進し、地球環境に優しい事業活動を展開すべく、次の行動指針を定めます。

□ 行動方針

1. 環境マネジメントシステムを構築し、組織が一丸となって継続的改善に取り組みます。
2. 事業活動に関連する法規、条例、協定等を遵守します。
3. 環境経営目標として、次項目に取り組みます。
 - ① 地球温暖化対策として、省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量を削減する。
 - ② 循環型社会のため、省資源、リサイクルを推進し、廃棄物排出量を削減する。
 - ③ 水資源を有効に活用するため、節水に努める。
 - ④ 5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)に努める。
 - ⑤ 回収できる金属リサイクル量を増やし再資源化に努める。
 - ⑥ 良品良質を提供し、クレームゼロに努める。
4. 環境経営方針は、全従業員に周知する。
5. 環境経営レポートを備え付け、一般閲覧を可能にし、広く社会への説明責任を果たします。

制定日：2008年6月15日
改定日：2019年1月18日
株式会社ユタカ
代表取締役 豊川 庸大

【組織の概要】

- (1) 事業者名及び代表者氏名
株式会社 ユタカ
代表取締役 豊川 庸大
- (2) 所在地
本社 大阪府東大阪市洪川町3丁目5番20号
大阪事業所 大阪府大阪市平野区加美北6丁目7番6号
倉庫 大阪府大阪市生野区巽南5丁目11番15号
駐車場 大阪府大阪市平野区加美北2丁目2番30号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 豊川 庸成
連絡責任者 豊川 庸成
TEL：06-6728-7288 FAX：06-6728-7272 E-mail：yutaka.since1993@alto.ocn.co.jp
- (4) 設立、資本金、取扱実績
設立：2006年9月19日
資本金：1,000万円
取扱実績：5,000 t（2024年度） 産業廃棄物の収集運搬量 0 t（2024年度）

- (5) 事業内容
非鉄金属リサイクル業（金属くず商）

	本社	大阪事業所	倉庫、駐車場	合 計
従業員数	8名	3名	無人	11名
敷地面積	942㎡	569㎡	165㎡	1,676㎡

- (7) 事業年度 10月～翌年9月
- (8) 認証・登録範囲 全組織・全活動が対象

(9) 施設の概要

<収集運搬業>

☐ 保有運搬車両：(2024年9月現在) 6台(積替え保管施設：なし)

車輛の種類	台数
10tダンプ車	2台
4tダンプ車	2台
12tトラック	1台
4tトラック	1台

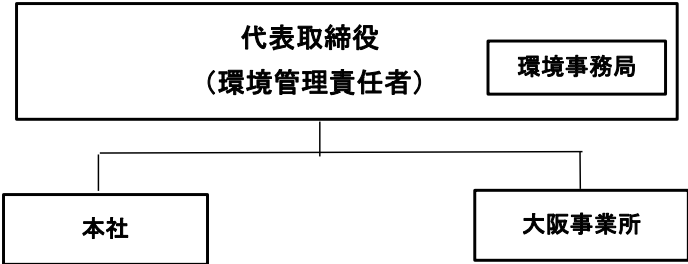
< 非鉄金属リサイクル業>

☐ 処理設備の概要

処理設備	台数	処理能力
減容機 *金属くずを圧搾する機械設備	2基	処理能力：10 t / 日（品目による） 処理品目：アルミサッシ、アルミ飲料缶、アルミ合金板材、銅管等
シャーリング	2基	処理能力：3 t / 日（品目、形状による） 処理品目：アルミサッシ（長尺）、真鍮棒地コロ（長尺）、銅管（長尺）等

<許可・登録内容>

許可の種類	許可	許可番号	許可年月日	産業廃棄物の種類									
			許可有効期限年月日	廃油	廃プラ類	金属くず	がれき類	木くず	紙くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	ガラスくず
産業廃棄物収集運搬運搬業	大阪府	第02700136922号	2024年1月27日～2029年1月26日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金属くず商	大阪府公安委員会	第621182002455号	2008年3月3日～										



	役割・責任・権限
最高責任者(社長) (環境管理責任者)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による課題とチャンスの作成、定期的に見直し ・環境経営方針の策定、見直し ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認 ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示に必要な情報(環境経営目標の達成状況等)を報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・自主的・積極的に環境活動へ参加。

非鉄金属リサイクル工程

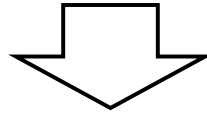
(銅、真鍮、砲金、アルミニウム、ステンレス、特殊合金等)

各工場

- ・NG品
- ・裁断屑等

建物の解体等

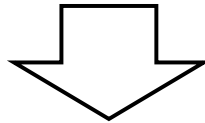
- ・アルミサッシ
- ・電線屑等



行商（仕入業者）

- ・スクラップ等

原材料の購入



【 弊社の金属リサイクル工程 】

選 別



炉前原料
(袋詰め等)



プレス加工



炉前原料
(プレス商品)



納品先

伸 銅 所

- ・銅管
- ・黄銅棒

アルミ軽圧メーカー

- ・アルミサッシ
- ・アルミカン

二次合金塊メーカー

- ・自動車エンジン原料

【主な環境負荷の実績】

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
電力使用量CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	32,119	33,173	35,725
自動車燃料使用量CO ₂ 排出量（ガソリン）	kg-CO ₂	16,194	16,449	16,078
自動車燃料使用量CO ₂ 排出量（軽油）	kg-CO ₂	48,607	51,508	51,213
CO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	96,920	100,680	103,016
産業廃棄物排出量	kg	1,920	2,080	1,570
一般廃棄物排出量	kg	182	180	215
水使用量	m ³	337	351	371
金属リサイクル取扱量	t	4,460	4,650	5,000

※ 2017年度電気事業者別二酸化炭素調整後排出係数：株式会社LOOOP 0.539kg-CO₂/kWh

※ガソリン：二酸化炭素排出係数 2.32kg-CO₂/L 軽油：二酸化炭素排出係数 2.58kg-CO₂/L

【環境経営目標・実績】＊削減率：（実績÷基準値）×100％

環境経営目標	単位	基準年度 2017年度	2024年度		2025年度	2026年度
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
金属リサイクル取扱量（a）	t	3,560	4,806	5,000	4,984	5,162
電力使用量	kWh	49,690	—	66,280	—	—
電力使用量CO ₂ 排出量（b）	kg-CO ₂	26,783		35,725		
電力使用量CO ₂ 原単位 （b/a）	kg-CO ₂ /t	7.52	7.15	7.14	7.07	7.00
	基準年度比	削減率	95%	95%	94%	93%
軽油使用量	L	15,299	—	19,850	—	—
ガソリン使用量	L	6,230	—	6,930		
自動車燃料使用量CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	53,925		67,291		
自動車燃料使用量CO ₂ 原単位 （c/a）	kg-CO ₂ /t	15.15	14.39	13.46	14.24	14.09
	基準年度比	削減率	95%	89%	94%	93%
産業廃棄物排出量（d）	kg	1,670	—	1,570		
産業廃棄物原単位 （d/a）	kg/t	0.469	0.446	0.314	0.441	0.436
	基準年度比	削減率	95%	67%	94%	93%
水道使用量（e）	m ³	273	—	371	—	—
水使用量原単位 （e/a）	m ³ /t	0.077	0.077	0.074	0.077	0.077
	基準年度比	削減率	100%	97%	100%	100%
5 S 運動の推進	＊評価方式	基準値なし	A	A	A	A
金属リサイクル再資源化量の推進	t	3,560	4,806	5,000	4,984	5,162
	基準年度比	向上率	135%	140%	140%	145%
良品、良質品の提供 （クレーム件数）	件数	0件	0件	0件	0件	0件

＊化学物質は使用無し、目標設定なし。＊水使用量は、コロナの影響で維持目標とする。

＊評価方式とは：5S運動の評価11項目中10項目達成するとA評価、10目以下の場合は、B評価とする。

□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

達成率：削減目標＝（目標÷実績）×100％ 向上目標＝（実績÷目標）×100％

取組内容の達成状況：○できた（100％）△（50％～100％未満）×全くできなかった（0％）

取組内容	達成状況	継続／変更	評価と次年度の取組み内容
電力使用量の二酸化炭素排出量の削減	達成率	100%	（目標達成） ・従来の取組み内容や効率的なプレス機稼働が実践できており、100%の達成率となった。 （次年度） ・繁忙期と閑散期の業務量の差が少なかった1年間であった。結果、電気使用量から見ても4月以降は月毎の差が例年よりも少なく、安定的な業務量が確保できたことが見て取れる。
・空調の適正化（冷房28℃・暖房20℃）	○	継続	
・ブラインド・すだれを活用	○	継続	
・昼休憩は電気を消灯する	○	継続	
・LED照明への変更	○	実施済	
自動車燃料使用量の二酸化炭素排出量の削減	達成率	107%	（目標達成） ・エコドライブ1～10の徹底により目標を達成した。 （次年度） ・今後も取扱量の増加によりトラックの稼働が増えることが予想されるので、エコドライブの徹底を周知する。 10tダンプ：4.3km/ℓ 12t標準車：2.8km/ℓ 4tダンプ①：7.1km/ℓ 4tダンプ②：6.9km/ℓ 4t標準車：6.4km/ℓ
・エコドライブ1～10の徹底	○	継続	
①ふんわりアクセル『eスタート』	○	継続	
②加減速の少ない運転	○	継続	
③早めのアクセルオフ	○	継続	
④エアコンの使用を控えめに	○	継続	
⑤無用なアイドリングをやめる	○	継続	
⑥暖機運転は適切に	○	継続	
⑦道路交通情報の活用	○	継続	
⑧タイヤの空気圧をこまめにチェック	○	継続	
⑨不要な荷物は積まずに走行	○	継続	
⑩駐車場所に注意	○	継続	
産業廃棄物の削減	達成率	142%	（目標達成） ・自社の排出量削減努力及びお客様への削減依頼（良品提供）の成果により目標を達成した。 （次年度） ・引き続き、削減の取組みを徹底していく。
・プラスチック、布等の再利用	○	継続	
・フレコンバッグの再利用	○	継続	
・パレットの再利用	○	継続	
水道使用量の削減	達成率	103%	（目標達成） ・従前の対策が実践できており、目標を達成した。 （次年度） ・熱中症対策はグッズを導入するなど、水撒きに頼らない対策を実践し、絶対量の減少に取り組んでいく。他の取組についても流し放しなど、無駄がないような使用を徹底する。
・洗車の回数を減らす	○	継続	
・就業後の手洗い時の節水	○	継続	
・節水コマの取り付け	○	継続	
5 S運動の推進	達成率	100%	（目標達成） ・当社の基本理念である5S活動が定着している。 （次年度） ・次年度も全項目の達成を目標に、周知徹底する。
・整理、収納箱の設置	○	継続	
・整理、整頓、清掃、清潔、躰の励行	○	継続	
・毎月の朝礼で周知徹底	○	継続	
金属リサイクル再資源化量の推進	達成率	104%	（目標達成） ・昨年度獲得したの大口顧客から、横展開で獲得した新規商材が目標達成の大きな要因と思われる。 （次年度） ・既存顧客への心配りや、新規顧客獲得に向けた営業努力により目標達成に向け取り組んでいく。
・既存のお客様に対しての営業活動	○	継続	
良品良質の提供（2017年度から実施）	達成率	100%	（目標達成） ・年間通してクレームはなかった。 （次年度） ・日常の選別業務、唱和活動を徹底してクレームの無いように取り組んでいく。
・毎朝朝礼での唱和活動	○	継続	
・選別作業の徹底			

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（届出の実施、測定の実施、基準値の遵守等）	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産業廃棄物収集運搬業（許可の有効期限）・産業廃棄物収集運搬業（実績なし） 帳簿の備付け、記載、保存 収集運搬基準（産業廃棄物：廃プラ、金属くず等8種類） ・産業廃棄物(廃プラ、布くず等)：産業廃棄物委託契約書、マニフェスト交付、保管、交付状況報告書等 ・一般廃棄物：一般廃棄物処理業者の許可証の確認	遵守
大阪府金属くず営業条例	・金属くず業の許可（大阪府公安委員会）	遵守
騒音規制法	・特定施設の届出、規制基準の遵守 減容機（油圧式） 高速切断機 シャーリング	遵守
振動規制法	・特定施設の届出、規制基準の遵守 減容機（油圧式） 高速切断機 シャーリング	遵守
家電リサイクル法	・消費者の責務（使用済特定家庭用機器の引渡義務）（テレビ、冷蔵庫）	遵守
自動車リサイクル法	・事業者の責務（使用済自動車の引渡義務）	遵守
自動車No x・PM法	・事業者の責務（規制対象区域の規制）（車検証）大阪府適合車ステッカー制度終了	遵守
道路交通法	・事業者の責務（安全運転の励行、アルコールチェック）	遵守
フロン排出抑制法	・管理者の責務（7.5kW未満業務用エアコン）簡易点検（3か月1回）、記録の保管	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況の確認の結果、環境関連法規制等は遵守している。
なお、関係当局より違反、訴訟などの指摘は、過去3年間ありません。

遵守確認年月日：2024年9月30日
環境管理責任者：豊川 庸成

- 外部から環境に関する苦情、要望などありませんでした。
- 毎日朝礼を通じて双方向のコミュニケーションを実施している。

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

- (1) 全体の評価
今年度も、すべての目標を達成した。
電力使用量は、従前の節電対策が確実に実践できている。
自動車燃料使用量は、エコドライブの徹底、特に配送ルートの適正化を推進していく。
手洗いの励行は今後も継続し、洗車時に水の出しっ放しが無いよう、節水徹底する。
引き続き、「クレームゼロ」が達成できている。販売先、仕入先からもご好評をいただいている。
- (2) 見直し・指示
2025年1月6日より社長変更が控えており、環境管理責任者も含めて実施体制の見直しが必要となってくる。
環境目標・環境計画も、基準年度を今の2017年度から変更すべきである。

項目	見直しの必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	有	2025年1月6日より代表者変更予定
環境経営目標	有	基準年度の見直し
環境経営計画	有	基準年度の変更による見直し
実施体制	有	2025年1月6日より代表者、環境管理責任者の変更予定

2024年10月28日
代表取締役 豊川 庸大